

平成29年度熊本県農業コンクール

1月26日、第58回を迎えた熊本県農業コンクール大会（県・JAなど農業団体・熊本日日新聞社主催）の表彰式がホテル熊本テルサ（熊本市）で行われました。

この大会は、自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組み、くまもとの農業の振興・発展及び地域の活性化に貢献している優秀な農業者や団体等を表彰すると共に、県民への農業理解を図り、農業・農村の振興に寄与する目的で開催されています。

経営体部門

◇優良賞 有限会社 荒木農園

（荒木 利治さん、荒木ツルエさん（鶴ヶ田））

施設園芸と露地野菜の大規模雇用型法人経営で
地域農業の振興、地域の活性化に貢献！

平成17年に「有限会社 荒木農園」を設立し、施設園芸（夏秋トマト）と露地野菜（キャベツ、ダイコン）を組み合わせた大規模法人経営に取り組まれている荒木さん。



土づくりには良質な堆肥を使用し、除草剤を使わない環境に配慮した栽培に取り組み、品質・収量の向上に努められています。

また、経営規模の拡大とともに雇用を増やし、働く側が働きやすいよう経営の主作目である夏秋トマトに、10月以降も収穫作業が継続するキャベツ、ダイコンなどの露地野菜を組み合わせることで雇用期間の長期化に取り組む、安定した経営を確立されています。

地域農力部門

◇優良賞

一般財団法人 清和文楽の里協会

清和地域の農産物を使って特産品を開発
「食」と「農」をつなぐ地域づくりに貢献！

平成4年に清和村文楽の里協会が設立され、清和文楽館、清和高原天文台が開館しました。その集客を所得向上の機会に活かそうと、平成6年に清和物産館が開館しました。



開館後は、地元農産物を使用した加工品の製造、観光客を中心に特産品の販売や食事の提供、地元中学生を対象とした郷土料理教室や職場体験を行なわれています。

このような取り組みを通して、農村女性や高齢農業者の雇用の場創り、生き甲斐づくり、安全・安心な農林産物の地元（地産地消）及び地域外への提供や周知等、地域の活性化に貢献されています。

テレビの視聴に関するお知らせ

平成30年3月22日（予定）より長崎・馬見原地区の一部地域において、携帯電話の新しい電波利用を開始いたします。開始に伴い、テレビ映像に影響の出る可能性がある地域へは、2月以降、以下みほんのようなチラシが配布されます。

影響が出た場合は、一般社団法人700MHz（メガヘルツ）利用推進協会より委託を受けた対策員が回復作業を行いますので、以下のコールセンターまで連絡をお願いいたします。



（チラシみほん）

※本件の工事に関する費用は700MHz利用推進協会が負担します。工事作業者が費用を請求することは一切ございません。

【お問合せ先】

700MHz テレビ受信障害対策コールセンター
電話番号：0120-700-012 または 050-3786-0700
受付時間：午前9時～午後10時（土日・祝祭日を含む）

町長室から

梅田 穰

2月28日、山都町に本校を有する一ツ葉高等学校の卒業式が福岡市で行われました。110名の卒業生一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡され、卒業生代表として挨拶をされた方が、他校からの転校の理由や、家族、先生方への感謝、同級生や下級生への思いなどを一生懸命語られ、その姿に感動を覚えました。

校長先生は、様々な事情を抱えながら入学・転校してきた生徒が見事に卒業式を迎え巣立っていく嬉しさを話されましたが、私が何より嬉しかったのが、山都町でのスクーリング※を通して山都町の農業に魅力を感じ、今年の4月より熊本県立農業大学校への入学が決まり、将来は山都町で農業をやりたいという生徒さんを紹介いただいたことです。2年後の就農の受け皿づくりを進めたいと思います。

一ツ葉高等学校は、毎年延べ700名もの生徒さんが山都町でのスクーリングに参加されています。今後町民の皆さんとの交流の場を多く作りたいと思います。

3月4日、快晴の中、山都町消防団の出初式が行われました。14分団及び幼年・少年消防クラブ合わせて約700名の方々が、松岡団長総指揮のもと、一糸乱れぬ入場行進、通常点検、小型ポンプ

操法競技と、全てにおいて統制のとれたきびきびとした動作を拝見し、大変感動しました。

また、三つの保育園の幼年消防クラブ、二つの中学校の少年消防クラブの見事な通常点検も拝見しましたが、それぞれ、日頃より防災意識の高揚に努めておられることに感謝いたします。結果は、第二分団が全部門（通常点検、小型ポンプ操法競技、総合）優勝という、すばらしい快挙でありました。改めて本田分団長以下団員の皆様にお祝いを申し上げるところですが、他の分団におかれましても、これまで非常に寒い中での訓練の成果を十分発揮されたものと感謝したところです。

消防団員の皆さんにおかれましては、町民の安全・安心を守っていただいていることに対し、深く感謝しているところでありますが、高齢化が急速に進む中、地域における消防団の役割として、消火・防災のみならず、地域の見守り活動にも大きな役割を担っていただくことを期待しております。

※スクーリング・・・通信教育において、受講者が教師や学友と直接接して学習する機会をもつため、短期間集中的に学校教育と同様の面接指導を受けること。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で消防団施設の整備を行いました

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、平成28年度、平成29年度で消防積載車と消防デジタル無線の整備を行いました。

これは、大矢野原演習場関連公共施設整備事業で、消防団施設を整備することにより、住民の安心で安全な生活を守ることを目的としています。

これからも、消防団活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成28年度

①消防積載車（小型動力ポンプ付積載車）

実施内容：小型動力ポンプ付積載車1台（山都町消防団第6分団1部3班）
事業費及び交付金額
6,264,000円（うち交付金額 6,000,000円）

②消防用広域無線通信システム（消防デジタル無線）

実施内容：携帯型無線機55台（消防団の全積載車に設置）、
基地局無線機1台、固定型無線機6台、アンテナ6基
事業費及び交付金額
20,193,120円（うち交付金額 20,500,000円）

平成29年度

①消防積載車（小型動力ポンプ付積載車）

実施内容：小型動力ポンプ付積載車1台（山都町消防団第1分団1部2班）
事業費及び交付金額
6,339,600円
（うち交付金額 6,000,000円）

平成29年度
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業



消防積載車（第6分団1部3班）



消防無線（デジタル無線）



消防積載車（第1分団1部2班）